

皆様、元気でお過ごしでしょうか？
雪に閉ざされる長い冬、冬至の前後にはほとんど陽がささないこともある北欧の国々。そこに暮らす人々は、冬の暮らしの達人です。長く厳しい冬をあたたかにすぞす知恵が受け継がれています。そんな北欧ならではのアイデアをこの冬取り入れてみませんか。

サンキャッチャーやモービルなど、窓辺の小物たち。光の反射で室内に太陽のきらめきをもたらすクリスタル系のサンキャッチャーはいかが？



長くて暗い冬を少しでも明るく、楽しく

「昼間は室内でも存分に自然の光を楽しみたい」
そのために、大きな窓を設置するのが北欧の家屋によく見られる特徴です。日が暮れてからは、あえて明るくしすぎないのも北欧風。照明でお部屋はいくらでも明るくなりますが、明るすぎる空間はかえって寒々しいものです。間接照明やろうそく(キャンドル)のほのかな明かりの方が、よりぬくもりを感じられることを、寒い国の人々はよく知っています。窓辺は小物や鉢植えで飾り、外行く人や、帰ってくる家族の目を楽しませます。



窓からあたたかさを逃がさない工夫

北欧の窓には、極寒の地らしい断熱の工夫もあります。熱が逃げるのを防ぐため、サッシは二重、三重になっているのが当たり前。複層ガラスなどもよくりようされており、高气密高断熱住宅の先進国です。また、大きな窓といっても日本のような掃き出し窓はあまり見られず、窓の冷気が足元へ流れるのを防ぐために腰高窓になっています。窓の下にはパネルヒーターや、窓下ヒーターなどが設置され、冷気の流れをストップします。極寒の中のぬくもりや、わずかだからこそその明かりの美しさを楽しむ、そんな北欧の生活の知恵を是非楽しんでみてください。北欧のインテリア雑貨も流行っています。

【暮らしメモ】

北欧スタイルのインテリアを取り入れてみよう

インテリアを北欧スタイルにまとめるコツをご紹介します。基本のポイントさえ押さえれば簡単に真似できます。

シンプル、ナチュラル、プラス、ビビッドな指し色

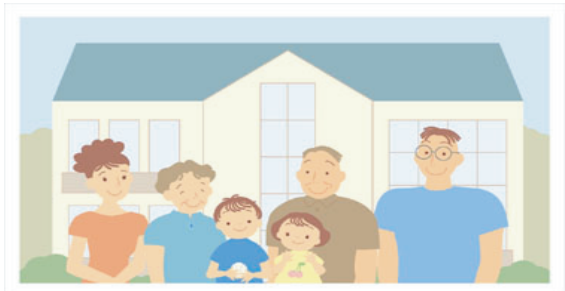
シンプルデザインのみめらかな白木の家具は北欧の定番です。あたたかみのある木のぬくもり、余計な装飾をなくした機能的な使いやすさは、長年受け継がれた伝統。ここにビビッドな指し色をプラスすれば、さらに北欧らしくなります。

外は雪でも、家の中はカラフル 自然モチーフのファブリック

動植物など、自然をモチーフにした鮮やかなファブリックを上手に取り入れるのも北欧の定番スタイル。外は一面の雪でも、家の中はカラフルに。プリーツの少ないフラットなカーテンやロールスクリーンなら、柄がよりくっきり楽しめます。ファブリックはパネルに仕立てても素敵です。絵画などに比べて手軽な上、雰囲気を変える効果は大。季節は気分柄を変えてみてください。



自然のモチーフや機能性を大切にスタイルは、日本の伝統にも通じます。



TOYAスマイル倶楽部事務局
今治市玉川町中村甲677-7
有限会社十弥工務店内
TEL (0898)36-8182
FAX (0898)36-8183
E-mail : toya-info@toya.co.jp